

**高等学校等就学支援金事務処理システム**

**管理説明書**

**BD21318_**

**平成２６年　３月**

**文部科学省**

**目　　次**

[・はじめに ２](#_Toc384972844)

[・基本操作の流れ ３](#_Toc384972845)

[第１章　都道府県 ５](#_Toc384972846)

[**１．** **事前準備** ５](#_Toc384972847)

[**２．** **実行環境設定** ５](#_Toc384972848)

[２．１ 各種マスタCSVファイルをセットアップ用フォルダに格納 ５](#_Toc384972851)

[２．２ 帳票の文言の修正（様式４９ 支給決定（予定）通知書） ６](#_Toc384972852)

[２．３ システムの起動 ８](#_Toc384972853)

[２．４ 都道府県情報設定 １１](#_Toc384972854)

[２．５ 設置者情報設定 １４](#_Toc384972855)

[２．６ 学校情報設定 １６](#_Toc384972856)

[**３．** **学校設置者配布用** １８](#_Toc384972857)

[３．１　帳票の文言修正（様式４９ 支給決定（予定）通知書） １８](#_Toc384972858)

[３．２　都道府県情報CSV、設置者情報CSV、学校情報CSV １８](#_Toc384972859)

[第２章　学校設置者 １９](#_Toc384972860)

[**１．** **事前準備** １９](#_Toc384972861)

[**２．** **実行環境設定** １９](#_Toc384972862)

[２．１ 各種マスタCSVファイルをセットアップ用フォルダに格納 １９](#_Toc384972863)

[２．２ システムの起動 ２０](#_Toc384972864)

[２．３ 環境設定システムの起動 ２３](#_Toc384972865)

[２．４ 都道府県情報設定 ２５](#_Toc384972866)

[２．５ 設置者情報設定 ２８](#_Toc384972867)

[２．６ 学校情報設定 ３０](#_Toc384972868)

[補足：エラーにてシステムが起動しない（ログイン画面が表示されない）場合 ３４](#_Toc384972869)

[補足：ログインできない場合 ３５](#_Toc384972870)

[補足：「CSVファイルの取込みに失敗しました」の場合 ３６](#_Toc384972871)

[補足：処理学校選択に学校が表示されない場合 ３７](#_Toc384972872)

[補足：「Windows Application1は動作を停止しました」が表示された場合 ３９](#_Toc384972873)

[補足：画面が反応しない場合 ４０](#_Toc384972874)

# ・はじめに

高等学校等就学支援金事務処理システム（V3）は、平成26年4月以降の入学者が対象となる高等学校等就学支援金制度（新制度）の業務全てを実現するために必要な機能を提供します。

平成26年3月以前から引き続き高等学校等に在学されている方は、公立高等学校授業料無償制・高等学校等就学支援金制度（現行制度）の適用となりますので、従来通り、高等学校等就学支援金事務処理システム（V1,V2）を利用ください。

・動作環境

本アプリケーションは、以下の環境にて動作いたします。

ＯＳ

* Microsoft Windows XP SP3
* Microsoft Windows Vista SP2
* Microsoft Windows 7 SP1

ソフトウェア

* Microsoft .NET Framework 4
* Adobe Reader

　　※本システムはMicrosoft .NET Framework 4を使用しています。

　　　Microsoft .NET Framework 4がインストールされていない場合は、

Microsoft .NET Framework 4をインストールする必要があります。

詳しくは「導入手順書」をご覧ください。

推奨ハードウェア

|  |  |
| --- | --- |
| 項目 | 仕様等 |
| CPU | 2 GHz 以上のプロセッサ（2コア以上） |
| メモリ | 3 GB以上（Windows7 64bit版では、6GB以上） |
| ハードディスク | 1.5GB×処理する学校数　以上のディスク空き容量（注）  （バックアップ用の領域は、別途必要となります） |
| ディスプレイ | 解像度が 1024x768 以上のモニタ |

　 注：都道府県庁にて、県システムと学校システムを同じパソコンで

使用する場合は、ハードディスクの容量は2倍必要となります。

・その他

帳票印刷用紙は、日本工業規格Ａ４を使用してください。

注意　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　本書に記載されているシステム名、製品名等は一般に各開発メーカーの登録商標または商標です。　なお、本文中ではＴＭ、(R)マークは明記していない場合があります。

# ・基本操作の流れ

高等学校等就学支援金事務処理システム（以下、就学支援金事務システムと略）の利用開始前の基本操作の流れを下記に示します。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 生徒（世帯） | 学校設置者 | 都道府県 | 文科省 |
| １事前作業 | 申請書作成  受給資格認定申請書 | 生徒情報作成  生徒情報CSV | 学校情報等作成  学校情報CSV  設置者情報CSV  都道府県情報CSV |  |
| ２システム導入 |  | 就学支援金  事務システム  就学支援金  事務システム  就学支援金  事務システム  実行環境設定  生徒情報等取込み | 実行環境設定  学校情報等取込み |  |
| ３システム運用 |  | 申請処理 | 審査処理  CSV  ファイル  就学支援金  事務システム  （申請）  就学支援金  事務システム  （審査） |  |

　本導入手順書は、「２．システム導入」における、システムの導入方法について説明いたします。システムの導入後の実行環境設定等に関しましては「管理説明書」を参照ください。

「１．事前作業」に関しては「管理説明書（事前作業編）」、「３．システム運用」に関しては「操作説明書」を参照ください。

＜学校設置者＞

1. 事前作業
   1. 生徒（世帯）に、高等学校等就学支援金受給資格認定申請書（様式）を配布します。
   2. 申請を行う生徒情報を事前に整理し、学校コード単位（※１）で生徒情報CSVを作成します。なお、定額授業料と単位制授業料では、異なる生徒情報CSVとなります。
2. システム導入
   1. 都道府県から受け取った就学支援金事務システムを導入します。
   2. 就学支援金事務システムの実行環境設定を行います。
   3. 実行環境設定後、事前に作成した生徒情報CSV等の取り込みを行います。
3. システム運用
   1. 就学支援金事務システムの画面にて、申請処理を行います。

＜都道府県＞

1. 事前作業
2. 知事名等の都道府県情報を事前に整理し、都道府県情報CSVを作成します。なお、設置者区分（※２）が異なると、都道府県で認定権者や担当部署が異なるため、異なる都道府県情報CSVとなります。
3. 学校設置者に対して設置者コードを設定し、設置者情報CSVを作成します。
4. 各学校に、「学校の種類・課程・学科」単位で学校コード（※１）を設定し、学校情報CSVを作成します。
5. システム導入
6. 文科省から受け取った就学支援金事務システムを導入します。
7. 就学支援金事務システムの実行環境設定を行います。
8. 実行環境設定後、都道府県情報CSV・設置者情報CSV・学校情報CSVの取り込みを行います。
9. 就学支援金事務システムを学校設置者に配布します。
10. システム運用
11. 就学支援金事務システムの画面にて、審査処理を行います。
12. 審査結果から、各生徒に認定番号（※３）が付番されます。

※１　学校コードは、同一の学校でも「学校の種類・課程・学科」が異なれば、異なる学校コードとなります。

「学校の種類・課程・学科」とは，｢①高等学校（全日制）｣，｢②高等学校（定時制）｣，｢③高等学校（通信制）｣，｢④中等教育学校（後期課程）｣，｢⑤特別支援学校（高等部）｣，「⑥高等専門学校（１～３学年）」，「⑦専修学校（高等課程）昼間学科」，「⑧専修学校（一般課程）昼間学科」，「⑨専修学校（高等課程）夜間等学科」，「⑩専修学校（一般課程）夜間等学科」，｢⑪専修学校（高等課程）通信制学科｣，「⑫専修学校（一般課程）通信制学科」，「⑬各種学校（外国人学校）」，「⑭各種学校（その他）」です。

※２　設置者区分とは、「01：国立」，「02：都道府県立」，「03：市町村立」，「04：私立」です。

※３　受給対象者個人に割り当てられる番号です。各種申請に使用します。

構成：（西暦年度下２ケタ）-（都道府県番号）-（国公私区分）-（学校番号）-（通し番号）

**第１章　都道府県**

1. **事前準備**
   1. 都道府県情報CSV・設置者情報CSV・学校情報CSV の作成

「管理説明書（事前作業編）」に従って、事前に準備されていること。

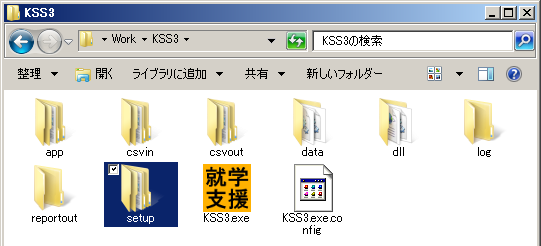
作成したファイルをメモ帳で開き、再度エントリーシートに張り付け、Excelのメニューの「データ」－「データの入力規制」－「無効データのマーク」を実行して再度確認してください。

また、都道府県情報CSVは、必ず１行だけのファイル（他県を含まない）である事を確認してください。

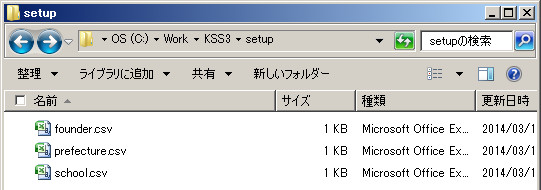
* 1. 就学支援金事務システムの導入

「管理説明書」に従って、KSS3フォルダが作成されていること

1. **実行環境設定**
3. 1. 各種マスタCSVファイルをセットアップ用フォルダに格納
4. KSS3フォルダを開き、setupフォルダを開きます。

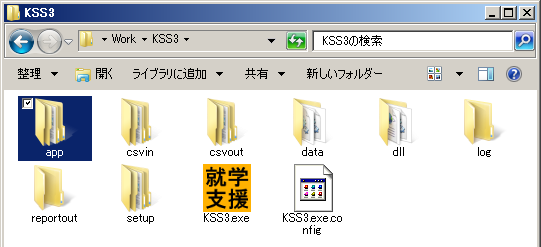


1. 事前に作成した都道府県情報CSV（prefecture.csv）、設置者情報CSV（founder.csv）、学校情報CSV（school.csv） をsetupフォルダに格納します。

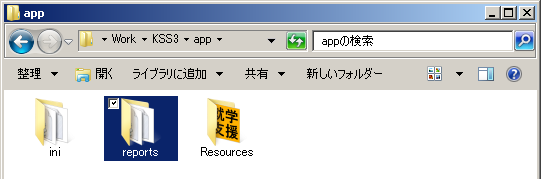


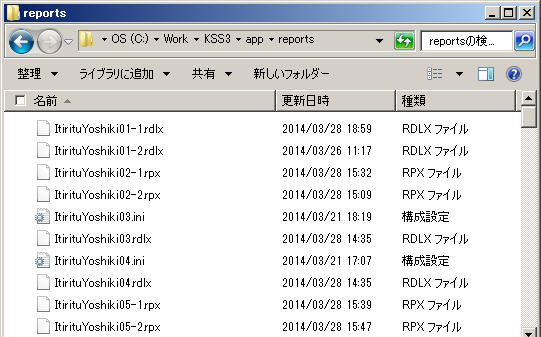
* 1. 帳票の文言の修正（様式４９ 支給決定（予定）通知書）

1. KSS3フォルダを開き、appフォルダを開きます。



1. KSS3\appフォルダの下のreportsフォルダを開きます。





1. KSS3\app\reportsフォルダの、下記のファイルをメモ帳で開いてください

○私立・国立の場合　：　KSS3\app\reports \KokusiYoshiki45.ini

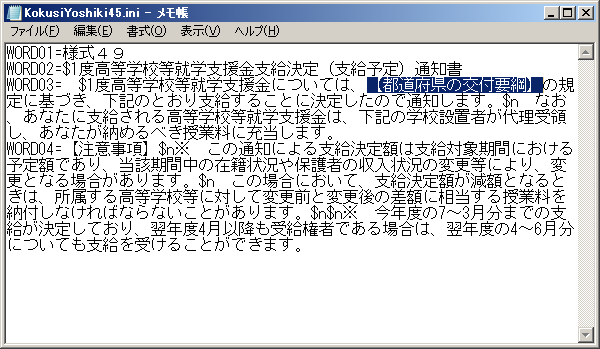
○都道府県立の場合　：　KSS3\app\reports \KenrituYoshiki45.ini

○市町村立の場合　　：　KSS3\app\reports \ItirituYoshiki45.ini

本ファイルは、様式４９ 支給決定（予定）通知書の文言設定ファイルです。

文言設定ファイルの詳細は、帳票レイアウト修正手順書を参照してください。

1. 左端に「WORD03」と記載されている行に、『【都道府県の交付要綱】』の記載があります。本文字列が「様式４９ 支給決定（予定）通知書」に印字する文字列ですので、適切な文字列に修正してください。

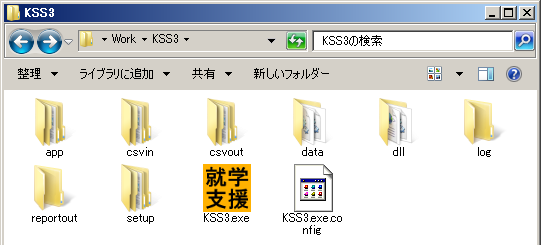


* 1. システムの起動

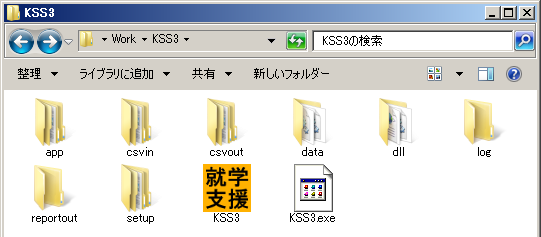
1. KSS3フォルダを開き、システムを開始します。

格納フォルダ：KSS3

ファイル名：KSS3.exe



フォルダーオプションで、「登録されている拡張子は表示しない」のチェックが外れている場合

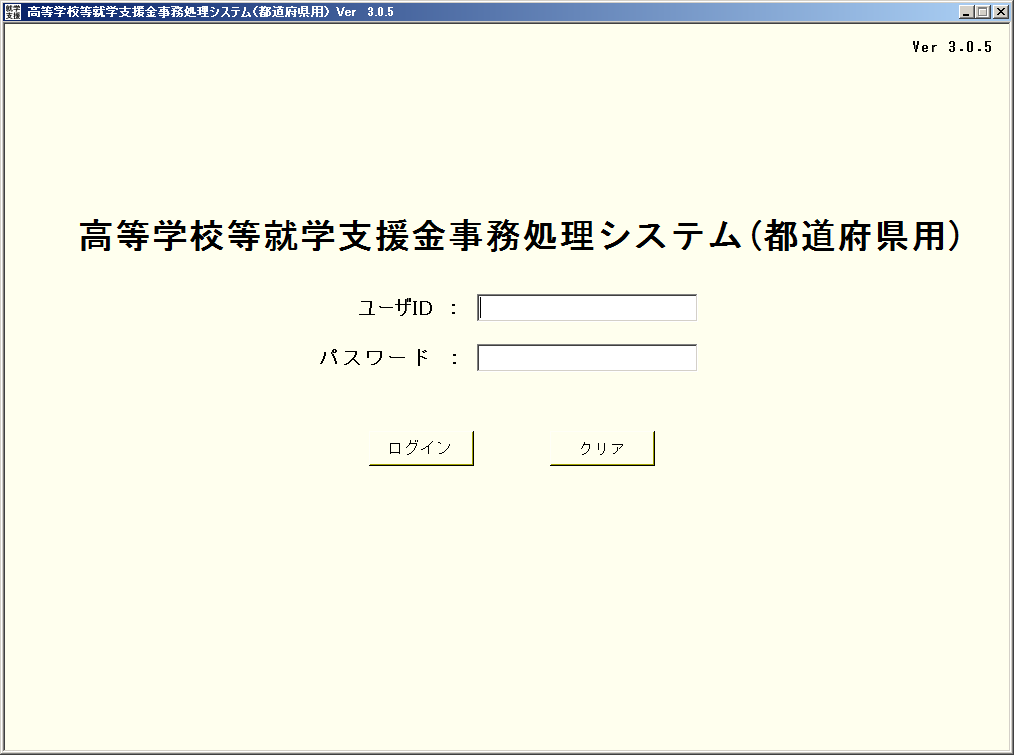


フォルダーオプションで、「登録されている拡張子は表示しない」のチェックがされている場合

ログイン画面が表示されますので、都道府県用のシステムが起動していることを確認し、別途お知らせするユーザIDとパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。

ログイン画面が表示されない場合は、ページ３５の『**補足：エラーにてシステムが起動しない（ログイン画面が表示されない）場合**』を参照ください。

＜ログイン画面＞



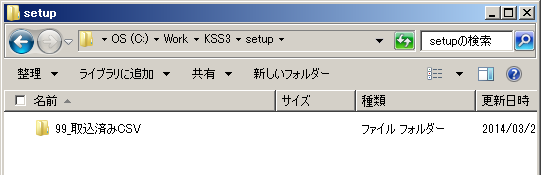
「（学校用）」と画面に表示された場合は、正しい都道府県用のシステムのKSS3フォルダをコピーしてください。

ログインできない場合は、ページ３６の『』を参照ください。

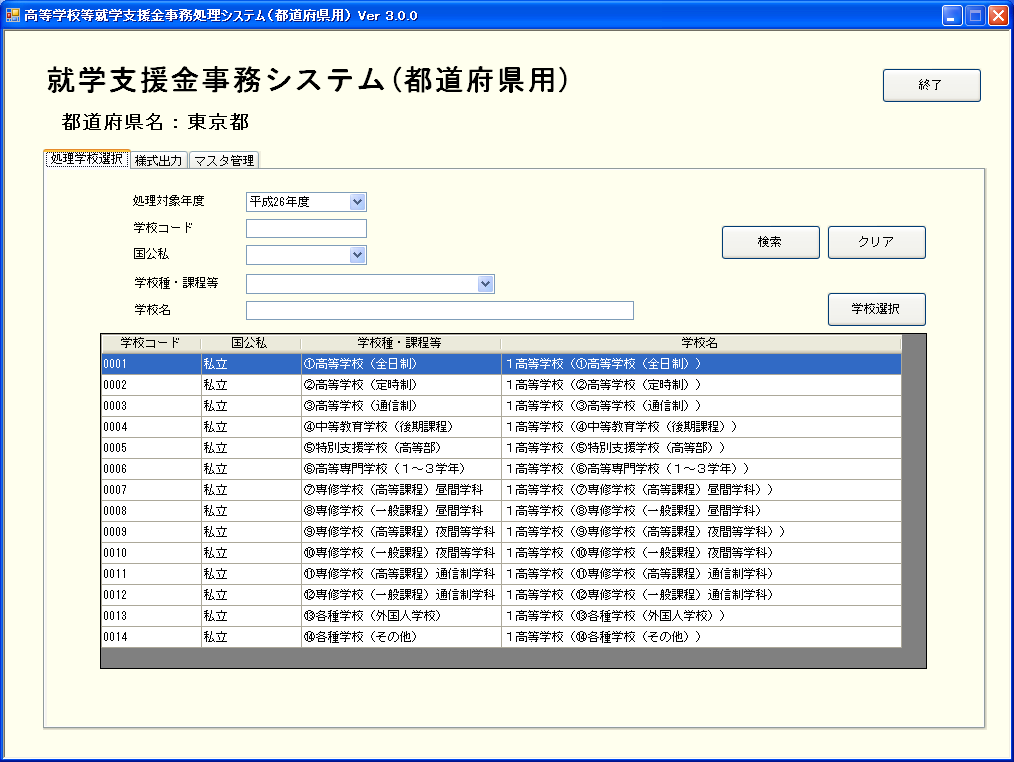
「CSVファイルの取込みに失敗しました。」が表示された場合は、ページ４１の『**補足：「CSVファイルの取込みに失敗しました」の場合**』を参照ください。

ログインしますと、setupフォルダに格納された都道府県情報CSV・設置者情報CSV・学校情報CSV を自動的に読み込み、処理学校選択画面が表示されます。

なお、システムが自動的に読み込んだsetupフォルダのファイルは、setupフォルダの下の99\_取込済みCSVフォルダに移動します。移動していない場合は、ファイル名が間違っている可能性があります。



＜処理学校選択画面＞



学校情報CSV

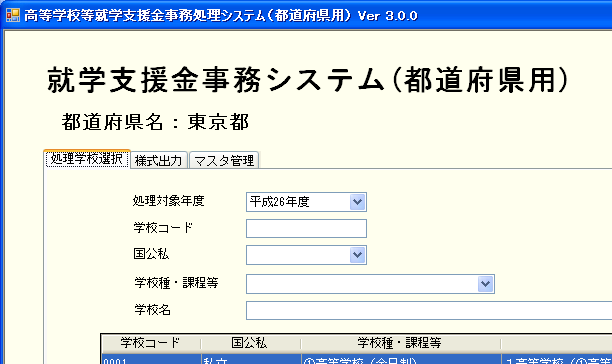
都道府県情報CSV

処理学校選択画面には、setupフォルダに格納した都道府県情報CSV の都道府県名と、学校情報CSV の学校が表示されます。

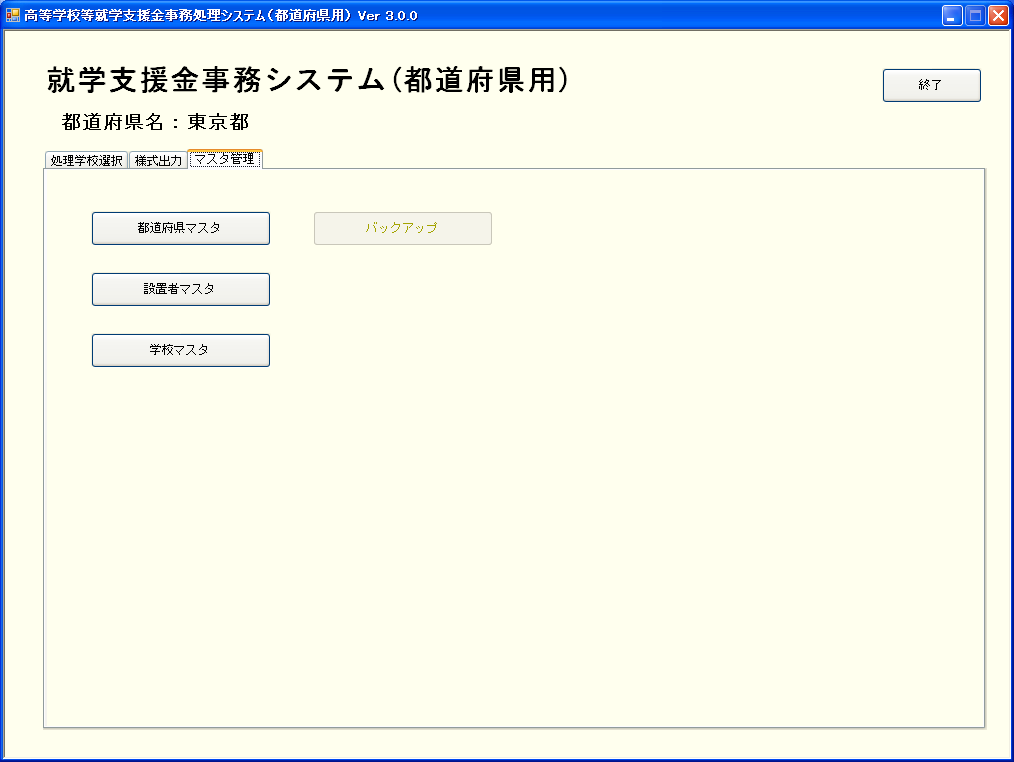
都道府県名や学校が表示されない場合は、学校情報CSV等のファイル名が間違っている可能性があります。正しくsetupフォルダの下の99\_取込済みCSVフォルダに移動しているか確認してください。

* 1. 都道府県情報設定

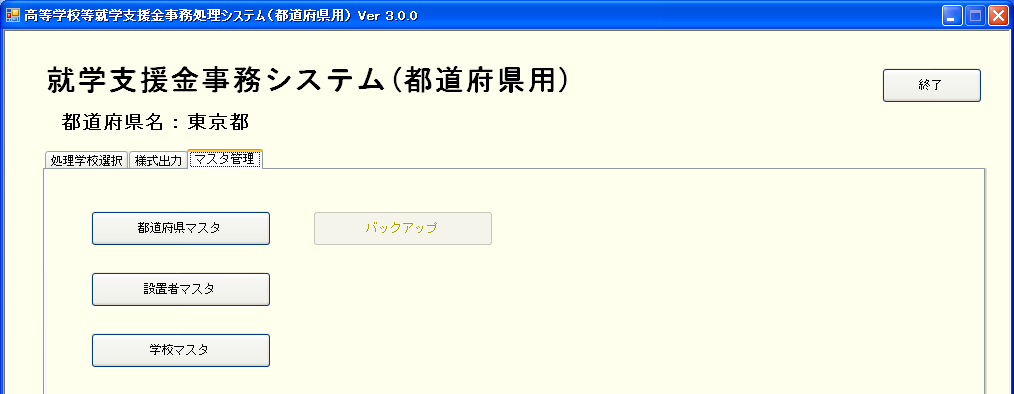
1. 処理学校選択画面の「マスタ管理」タブを選択します。



＜マスタ管理画面＞



(2)マスタ管理画面の「都道府県マスタ」をクリックします。



＜都道府県マスタ＞



都道府県マスタには、setupフォルダに格納した都道府県情報CSVの情報が表示されます。

複数の都道府県が表示された場合は、必要な都道府県１行だけの都道府県情報CSVを作成し、KSS3フォルダの作成からやり直してください。

事前に作成した都道府県情報CSVの情報が表示されない場合は、都道府県情報CSVのファイル名、もしくは、ファイルの内容が間違っている可能性があります。

なお、他の設置者マスタや学校情報マスタも確認してください。

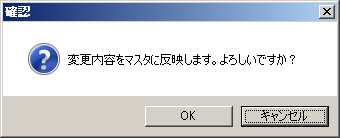
(3) 現在の登録情報が表示されますので、詳細情報を確認します。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 設計項目説明 | | | | | | | |
| No | 項目名 | 必須 | | | | 文字種 | 備考 |
| 都道府県立用 | 市町村立用 | 私立用 | 国立用（参考） |
| 1 | 都道府県コード | ○ | ○ | ○ | ○ |  |  |
| 2 | 都道府県名 | ○ | ○ | ○ | ○ |  |  |
| 3 | 知事 | × | × | △ | △ | 全半角  （100byte） | 知事名を入力します。 |
| 4 | 知事氏名 | × | × | △ | △ | 全半角  （100byte） | 都道府県知事の氏名を入力します。 |
| 5 | 教育委員会 | △ | △ | × | × | 全半角  （100byte） | 教育委員会名を入力します。 |
| 6 | 私立担当者 | × | × | △ | △ | 全半角  （100byte） | 私立学校の都道府県事務担当者名を設定します。 |
| 7 | 私立担当電話番号 | × | × | △ | △ | 全半角  （40byte） | 私立学校の都道府県事務の受付電話番号を設定します。 |
| 8 | 公立担当者 | △ | △ | × | × | 全半角  （100byte） | 公立学校の都道府県事務担当者名を設定します。 |
| 9 | 公立担当電話番号 | △ | △ | × | × | 全半角  （40byte） | 公立学校の都道府県事務の受付電話番号を設定します。 |

(4) データの内容を確認し、正しく登録できていれば「閉じる」ボタンをクリックします。

(5) データの内容を修正した場合は、内容を確認し、「更新」ボタンをクリックします。

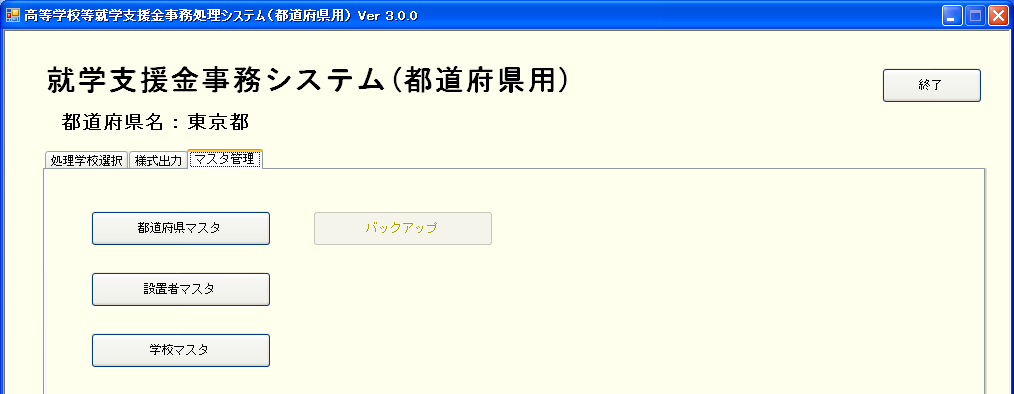
確認メッセージが表示されますので、「OK」をクリックし、データを更新します。



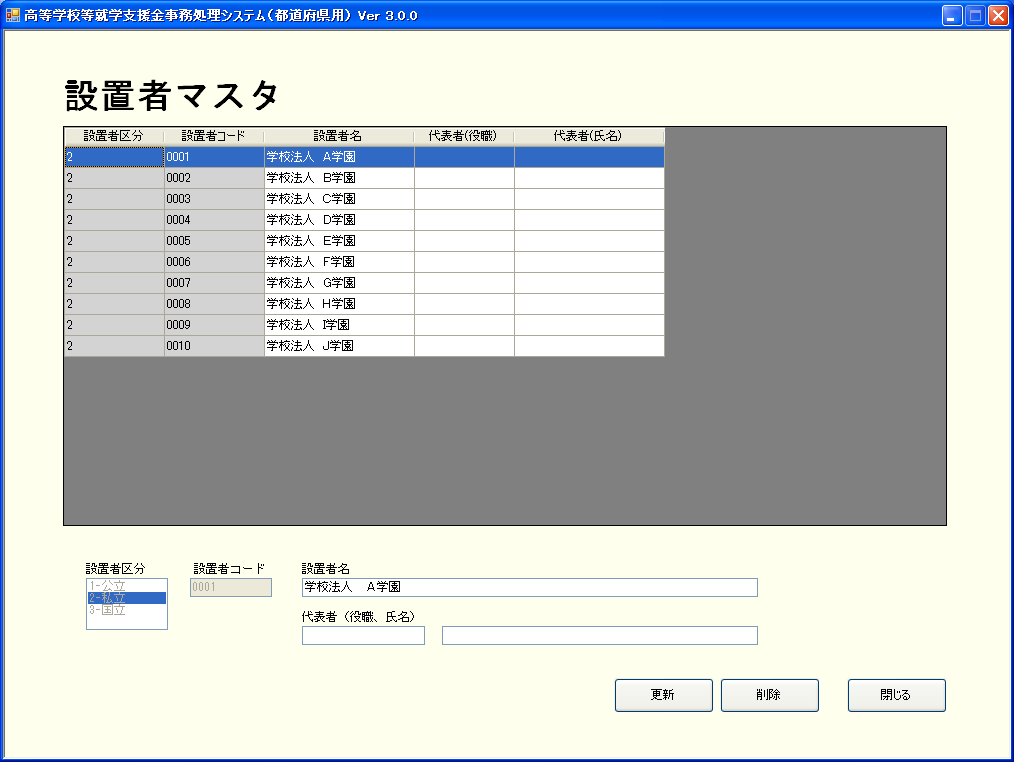
なお、本画面で修正した結果は、学校用システムに反映されませんので、都道府県情報CSVも更新してください。すでに学校用システムに都道府県情報CSVを取り込んだ後に修正した場合は、各学校用システムの都道府県マスタ画面で修正してください。

* 1. 設置者情報設定

(1)マスタ管理画面の「設置者マスタ」をクリックします。



＜設置者マスタ＞



設置者マスタには、setupフォルダに格納した設置者情報CSVの情報が表示されます。

事前に作成した設置者情報CSVの情報が表示されない場合は、設置者情報CSVのファイル名、もしくは、ファイルの内容が間違っている可能性があります。

なお、他の都道府県マスタや学校情報マスタも確認してください。

(2) 現在の登録情報が表示されますので、詳細情報を確認します。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 設定項目説明 | | | | |
| No | 項目名 | 県/学 | 文字種 | 説明 |
| 1 | 設置者区分 | CSV |  | 設置者区分（国公私区分）を表示します。  1：公立 2：私立 3：国立 |
| 2 | 学校設置者コード | CSV |  | 4桁のコードを表示します。  学校設置者コードの１桁目は、設置者区分（1～3）を設定してください。  都道府県立と 市町村立で重複しないコードを設定してください。 |
| 3 | 学校設置者名 | 学 | 全半角  （60Byte） | 学校設置者名を設定します。 |
| 4 | 代表者（役職） | 学 |  | 代表者の役職を設定 |
| 5 | 代表者（氏名） | 学 |  | 代表者の氏名を設定 |

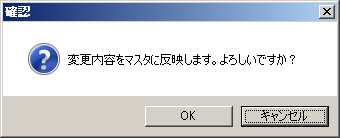
『県/学』欄の凡例　：　CSV：CSVファイルで追加

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　学 ：学校側のマスタで更新

(3) データの内容を確認し、正しく登録できていれば「閉じる」ボタンをクリックします。

(4) データの内容を修正した場合は、内容を確認し、「更新」ボタンをクリックします。

確認メッセージが表示されますので、「OK」をクリックし、データを更新します。



なお、学校設置者名や代表者（役職、氏名）は、学校からの申請等のCSVを取り込むことで、学校用システムの設置者マスタの情報に自動的に更新されます。

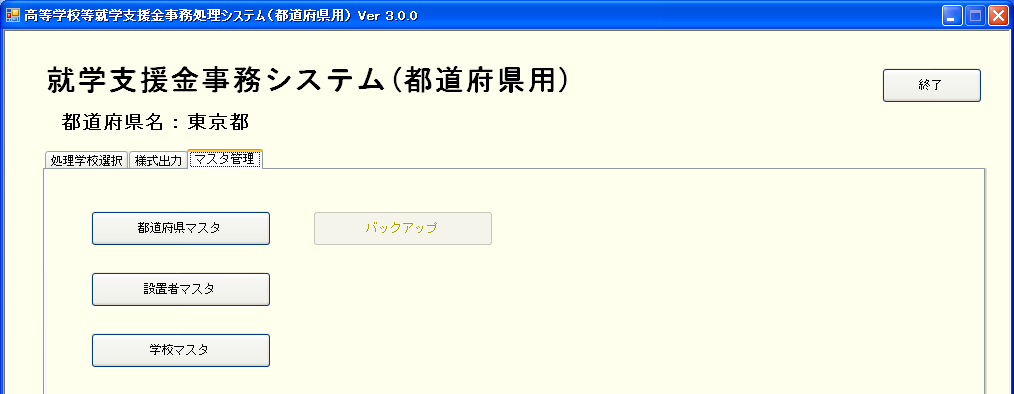
従いまして、初期状態としては学校設置者名や代表者（役職、氏名）は空欄となります。また、本画面で修正した結果は、学校用システムには反映されません。

設置者区分、学校設置者コードが間違っていた場合は、設置者情報CSVを修正し、KSS3フォルダの作成からやり直してください。

なお、すでに設置者情報CSVを取り込んだ後に修正し、修正した設置者情報CSVを再度取り込んだ場合は、追加されたコードがシステムに取り込まれ、追加されます。

* 1. 学校情報設定

(1)マスタ管理画面の「学校マスタ」をクリックします。



＜学校マスタ＞



学校マスタには、setupフォルダに格納した学校情報CSVの情報が表示されます。

事前に作成した学校情報CSVの情報が表示されない場合は、学校情報CSVのファイル名、もしくは、ファイルの内容が間違っている可能性があります。

なお、他の都道府県マスタや設置者情報マスタも確認してください。

(2) 現在の登録情報が表示されますので、詳細情報を確認します。

| 設定項目説明 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| No | 項目名 | 県/学 | 文字種 | 説明 |
| 1 | 学校コード | CSV |  | 4桁のコードを表示します。  ※同一学校でも、学校区分が異なれば、別コードを振ってください。 |
| 2 | 学校名称 | 学 | 全半角  （60Byte） | 学校名を設定します。 |
| 3 | 設置者区分 | CSV |  | 設置者区分を表示します。  01：国立 02：都道府県立 03：市町村立 04：私立 |
| 4 | 学校種・課程等 | CSV |  | 「学校の種類・課程・学科」を表示します。  01：①高等学校（全日制） 02：②高等学校（定時制） 03：③高等学校（通信制） 04：④中等教育学校（後期課程） 05：⑤特別支援学校（高等部） 06：⑥高等専門学校（１～３学年） 07：⑦専修学校（高等課程）昼間学科 08：⑧専修学校（一般課程）昼間学科 09：⑨専修学校（高等課程）夜間等学科 10：⑩専修学校（一般課程）夜間等学科 11：⑪専修学校（高等課程）通信制学科 12：⑫専修学校（一般課程）通信制学科 13：⑬各種学校（外国人学校） 14：⑭各種学校（その他） |
| 5 | 設置者 | 学 | 選択 | 学校設置者を選択します。 |
| 6 | 住所（都道府県） | 学 |  | 所在する都道府県 |
| 7 | 住所（市区町村） | 学 |  | 所在する市区町村を設定 |
| 8 | 住所（以下住所） | 学 |  | 所在する住所（市区町村以下）を設定 |
| 9 | 代表者（役職） | 学 |  | 学校代表者の役職名を設定 |
| 10 | 代表者（氏名） | 学 |  | 学校代表者の氏名を設定 |
| 11 | 月額授業料 | 学 |  | 基準の月額授業料を設定 |
| 12 | 単位授業料 | 学 |  | 単位制の場合、単位あたりの授業料を設定 |
| 13 | 学校印字 | 学 | チェック | 学校にて生徒宛の各種通知書を印字する場合に設定 |

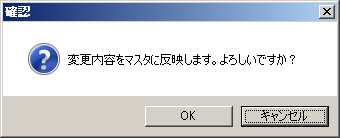
『県/学』欄の凡例　：　CSV：CSVファイルで追加

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　学 ：学校側のマスタで更新

(3) データの内容を確認し、正しく登録できていれば「閉じる」ボタンをクリックします。

(4) データの内容を修正した場合は、内容を確認し、「更新」ボタンをクリックします。

確認メッセージが表示されますので、「OK」をクリックし、データを更新します。



なお、学校名称や設置者等は、学校からの申請等のCSVを取り込むことで、学校用システムの学校マスタの情報に自動的に更新されます。

従いまして、初期状態としては学校名称や設置者等は空欄となります。また、本画面で修正した結果は、学校用システムには反映されません。

学校コード、設置者区分、学校種・課程等が間違っていた場合は、学校情報CSVを修正し、KSS3フォルダの作成からやり直してください。

なお、すでに学校情報CSVを取り込んだ後に修正し、修正した学校情報CSVを再度取り込んだ場合は、追加されたコードがシステムに取り込まれ、追加されます。

1. **学校設置者配布用**

３．１　帳票の文言修正（様式４９ 支給決定（予定）通知書）

ページ６の「帳票の文言の修正（様式４９ 支給決定（予定）通知書）」にて、『【都道府県の交付要綱】』の文言を修正したファイルを、各学校設置者に配布する学校用システムにコピー（上書き）してください。

○私立・国立の場合　：　KSS3\app\reports \KokusiYoshiki45.ini

○都道府県立の場合　：　KSS3\app\reports \KenrituYoshiki45.ini

○市町村立の場合　　：　KSS3\app\reports \ItirituYoshiki45.ini

各学校設置者に配布する学校用システムは、上記のファイルが修正されたものを配布してください。

なお、KSS3\app\reportsのファイルは、学校用システムと都道府県用システムでは同じファイルです。

３．２　都道府県情報CSV、設置者情報CSV、学校情報CSV

都道府県情報CSV（prefecture.csv）、設置者情報CSV（founder.csv）、学校情報CSV（school.csv）が正しくシステムに登録できることを確認したのち、正しい都道府県情報CSV、設置者情報CSV、学校情報CSVを各学校設置者に配布してください。

**第２章　学校設置者**

1. **事前準備**
2. 生徒情報CSVの作成

「管理説明書（事前作業編）」に従って、事前に準備されていること。

作成したファイルをメモ帳で開き、再度エントリーシートに張り付け、Excelのメニューの「データ」－「データの入力規制」－「無効データのマーク」を実行して再度確認してください。

「認定番号」は，（西暦下２ケタ）-（都道府県番号）－（国公私立番号）－（学校番号）－（申請リストの通し番号）です。したがって、同一の学校コード（学校番号）の生徒情報CSVの通し番号が重複しない事を確認してください。特に、単位制授業料の生徒と定額授業料の生徒が混在する場合は、生徒情報CSVのファイルが分かれますので、注意してください。

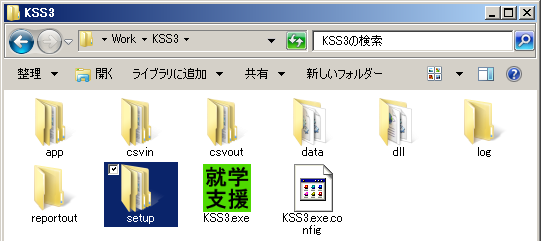
1. 都道府県情報CSV・設置者情報CSV・学校情報CSVの受領

都道府県側で作成した、都道府県情報CSV・設置者情報CSV・学校情報CSVを受領していること

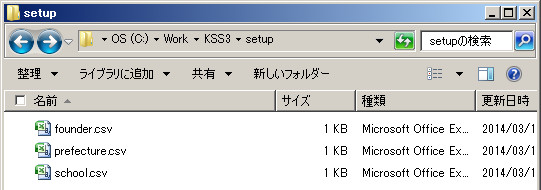
1. 就学支援金事務システムの導入

「管理説明書」に従って、KSS3フォルダが作成されていること

1. **実行環境設定**
   1. 各種マスタCSVファイルをセットアップ用フォルダに格納
2. KSS3フォルダを開き、setupフォルダを開きます。



1. 都道府県から配布された都道府県情報CSV（prefecture.csv）、設置者情報CSV（founder.csv）、学校情報CSV（school.csv） をsetupフォルダに格納します。

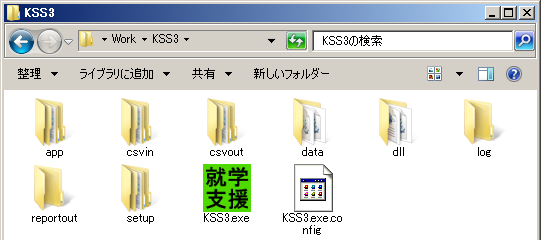


* 1. システムの起動

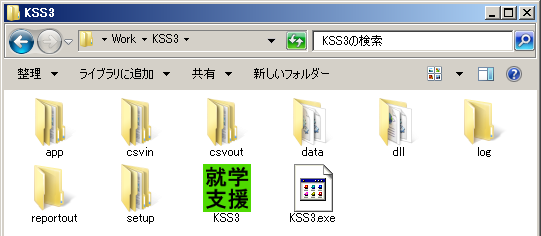
1. KSS3フォルダを開き、システムを開始します。

格納フォルダ：KSS3

ファイル名：KSS3.exe



フォルダーオプションで、「登録されている拡張子は表示しない」のチェックが外れている場合

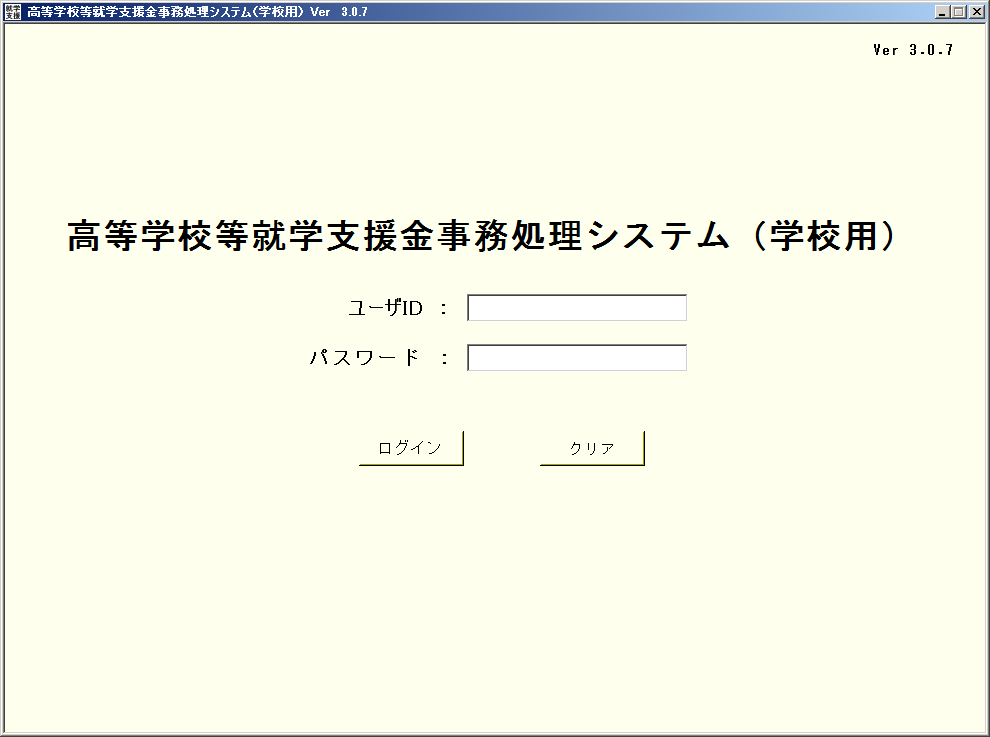


フォルダーオプションで、「登録されている拡張子は表示しない」のチェックがされている場合

ログイン画面が表示されますので、学校用のシステムが起動していることを確認し、別途お知らせするユーザIDとパスワードを入力し、「ログイン」ボタンをクリックします。

ログイン画面が表示されない場合は、ページ３５の『**補足：エラーにてシステムが起動しない（ログイン画面が表示されない）場合**』を参照ください。

＜ログイン画面＞



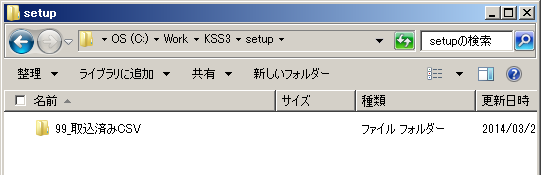
「（都道府県用）」と画面に表示された場合は、正しい学校用のシステムのKSS3フォルダをコピーしてください。

ログインできない場合は、ページ３６の『』を参照ください。

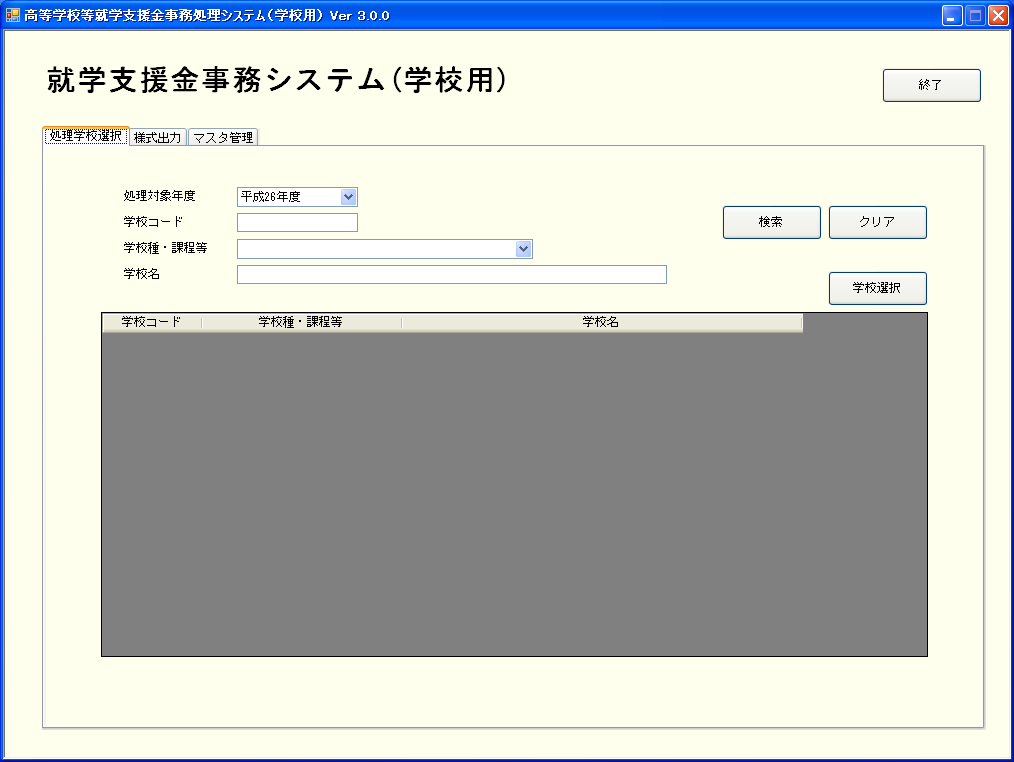
「CSVファイルの取込みに失敗しました。」が表示された場合は、ページ４１の『**補足：「CSVファイルの取込みに失敗しました」の場合**』を参照ください。

ログインしますと、setupフォルダに格納された都道府県情報CSV・設置者情報CSV・学校情報CSV を自動的に読み込み、処理学校選択画面が表示されます。

なお、システムが自動的に読み込んだsetupフォルダのファイルは、setupフォルダの下の99\_取込済みCSVフォルダに移動します。移動していない場合は、ファイル名が間違っている可能性があります。



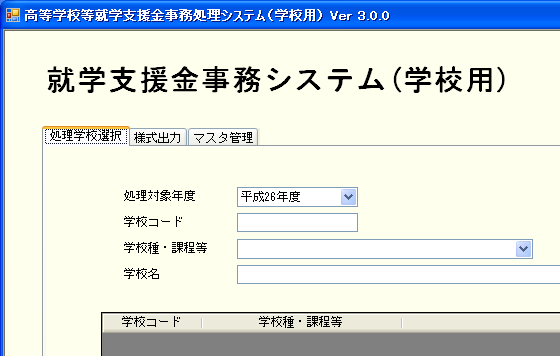
＜処理学校選択画面＞



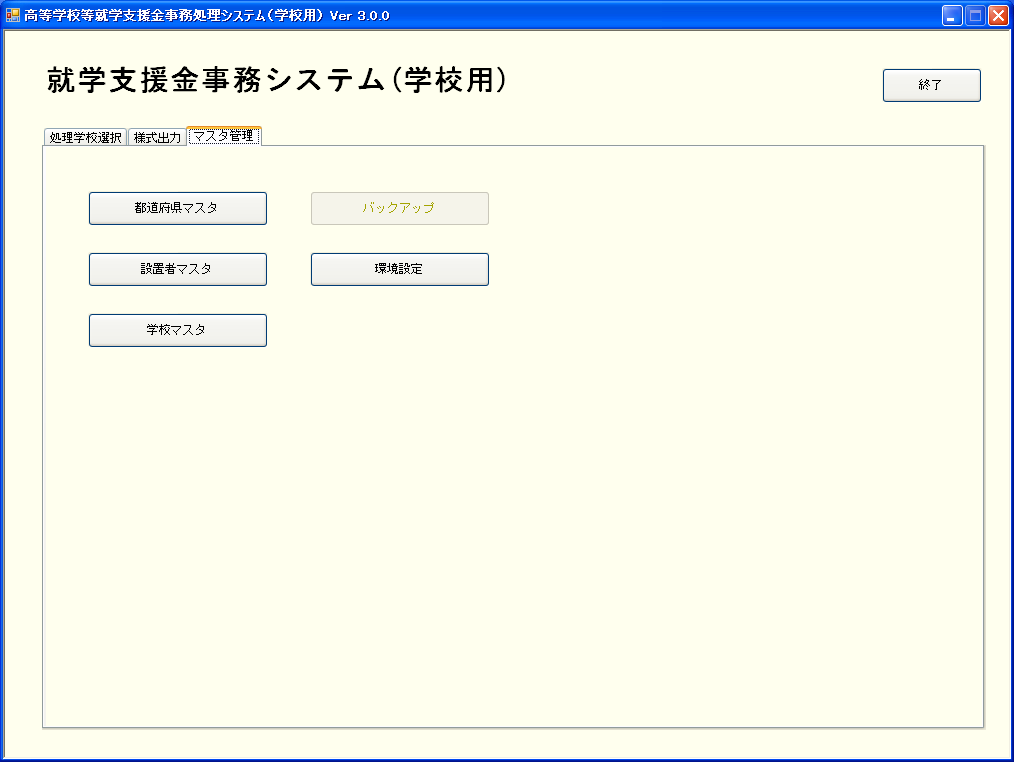
初期状態では、上記のように学校は表示されません。

* 1. 環境設定システムの起動

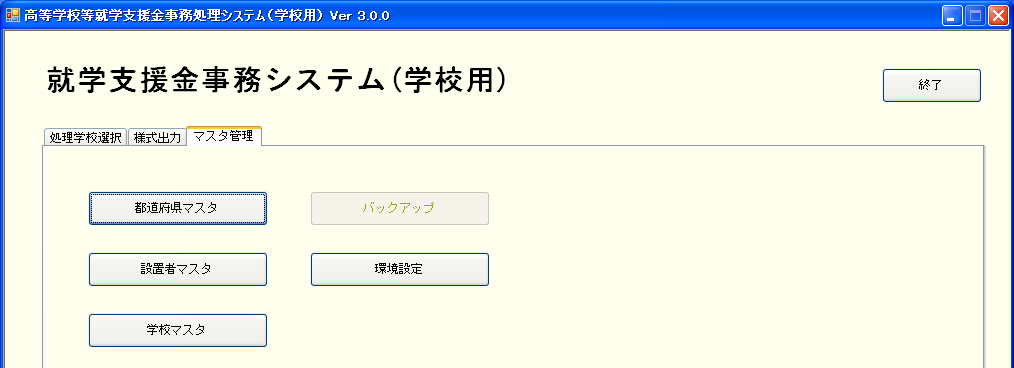
1. 処理学校選択画面の「マスタ管理」タブを選択します。



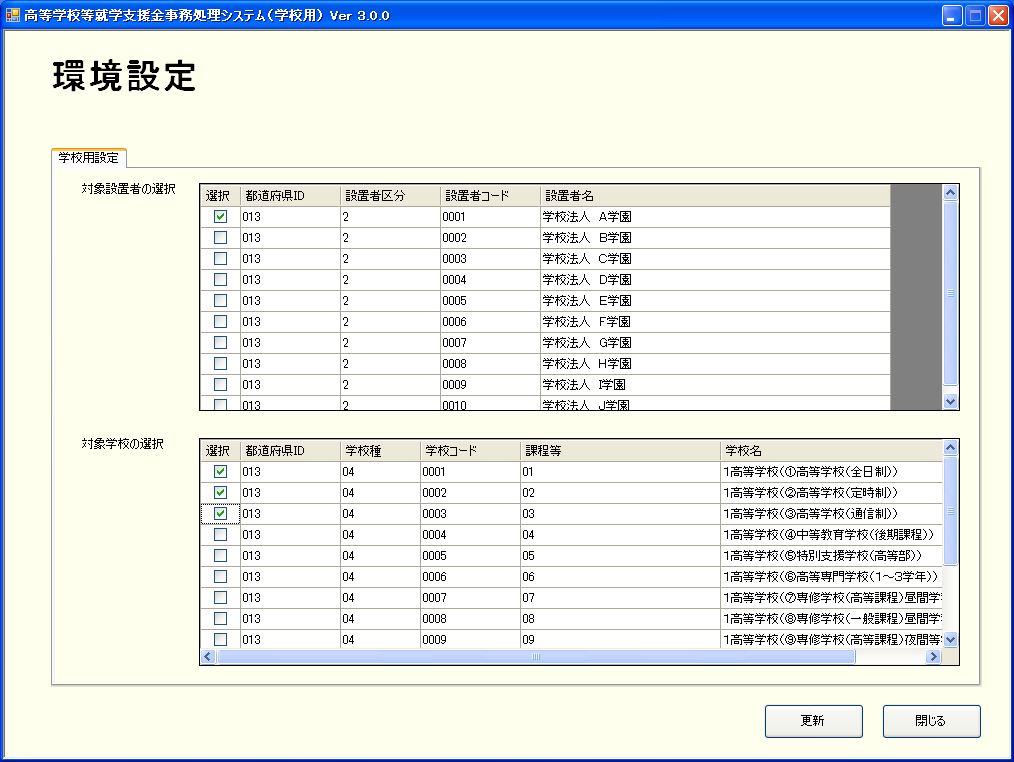
＜マスタ管理画面＞



1. マスタ管理画面の「環境設定」をクリックします。



＜環境設定画面＞



設置者情報CSVと学校情報CSVに登録された情報が表示されます。

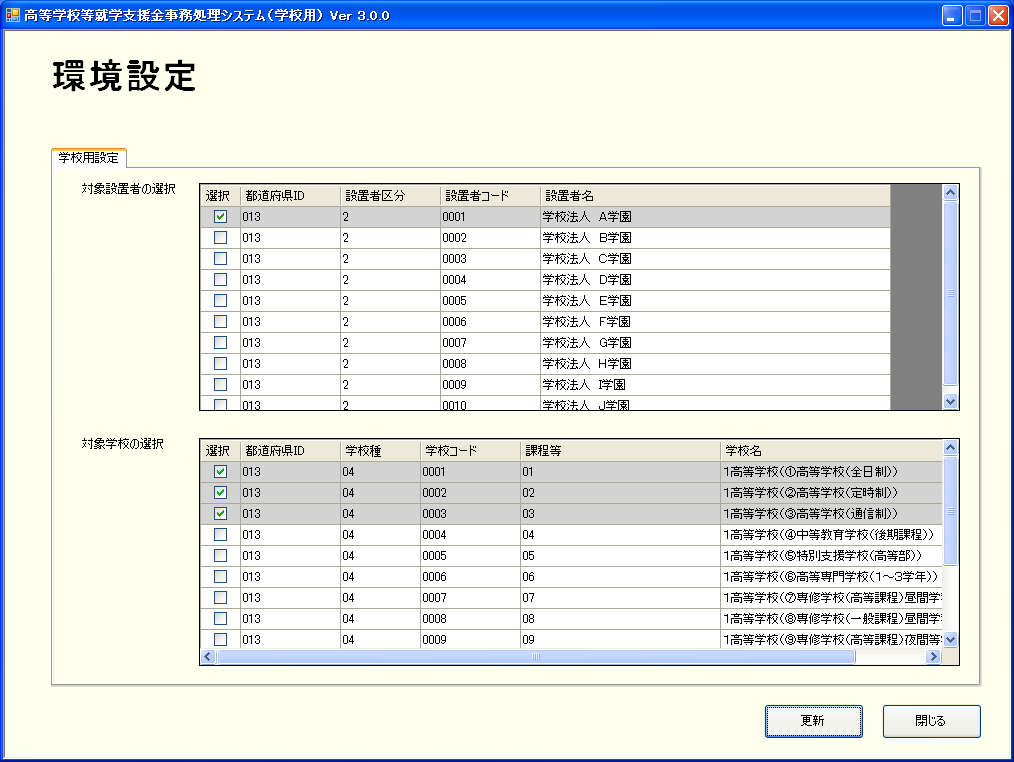
担当する設置者と学校にチェックを入れて、「更新」をクリックしてください。

　　　複数ある場合は、複数にチェックを入れてください。

チェックを入れたものが、本システムで扱う設置者マスタと学校マスタに登録されます。

setupフォルダに格納した設置者情報CSVと学校情報CSVの情報が表示されない場合は、ファイル名、もしくは、ファイルの内容が間違っている可能性があります。

なお、他の都道府県マスタも確認してください。

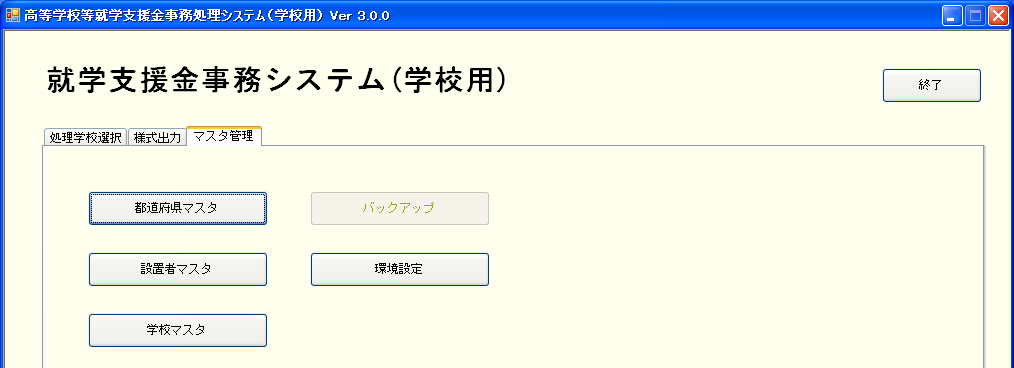


設置者マスタと学校マスタに登録済みのデータは、灰色となり、重複してマスタに追加できないようになります。

誤ってチェックし、設置者マスタと学校マスタから削除したい場合は、各マスタの管理画面で削除してください。本画面は、設置者情報CSVと学校情報CSVから、設置者マスタと学校マスタに登録するものを取捨選択する画面であります。

* 1. 都道府県情報設定

1. マスタ管理画面の「都道府県マスタ」をクリックします。



＜都道府県マスタ＞



都道府県マスタには、setupフォルダに格納した都道府県情報CSVの情報が1行表示されます。

都道府県情報CSVの情報が表示されない場合は、都道府県情報CSVのファイル名、もしくは、ファイルの内容が間違っている可能性があります。

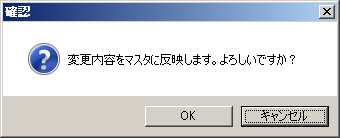
なお、他の設置者マスタや学校情報マスタも確認してください。

1. 現在の登録情報が表示されますので、詳細情報を確認します。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 設計項目説明 | | | | | | | |
| No | 項目名 | 必須 | | | | 文字種 | 備考 |
| 都道府県立用 | 市町村立用 | 私立用 | 国立用 |
| 1 | 都道府県コード | ○ | ○ | ○ | ○ |  |  |
| 2 | 都道府県名 | ○ | ○ | ○ | ○ |  |  |
| 3 | 知事 | × | × | △ | △ | 全半角  （100byte） | 知事名（大臣名）を入力します。 |
| 4 | 知事氏名 | × | × | △ | △ | 全半角  （100byte） | 都道府県知事（大臣）の氏名を入力します。 |
| 5 | 教育委員会 | △ | △ | × | × | 全半角  （100byte） | 教育委員会名を入力します。 |
| 6 | 私立担当者 | × | × | △ | △ | 全半角  （100byte） | 私立学校の都道府県事務担当者名を設定します。 |
| 7 | 私立担当電話番号 | × | × | △ | △ | 全半角  （40byte） | 私立学校の都道府県事務の受付電話番号を設定します。 |
| 8 | 公立担当者 | △ | △ | × | × | 全半角  （100byte） | 公立学校の都道府県事務担当者名を設定します。 |
| 9 | 公立担当電話番号 | △ | △ | × | × | 全半角  （40byte） | 公立学校の都道府県事務の受付電話番号を設定します。 |

1. データの内容を確認し、正しく登録できていれば「閉じる」ボタンをクリックします。
2. データの内容を修正した場合は、内容を確認し、「更新」ボタンをクリックします。

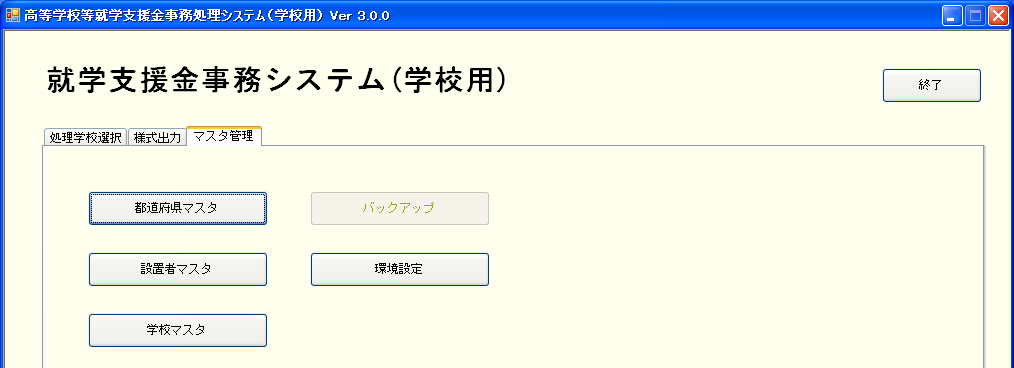
確認メッセージが表示されますので、「OK」をクリックし、データを更新します。



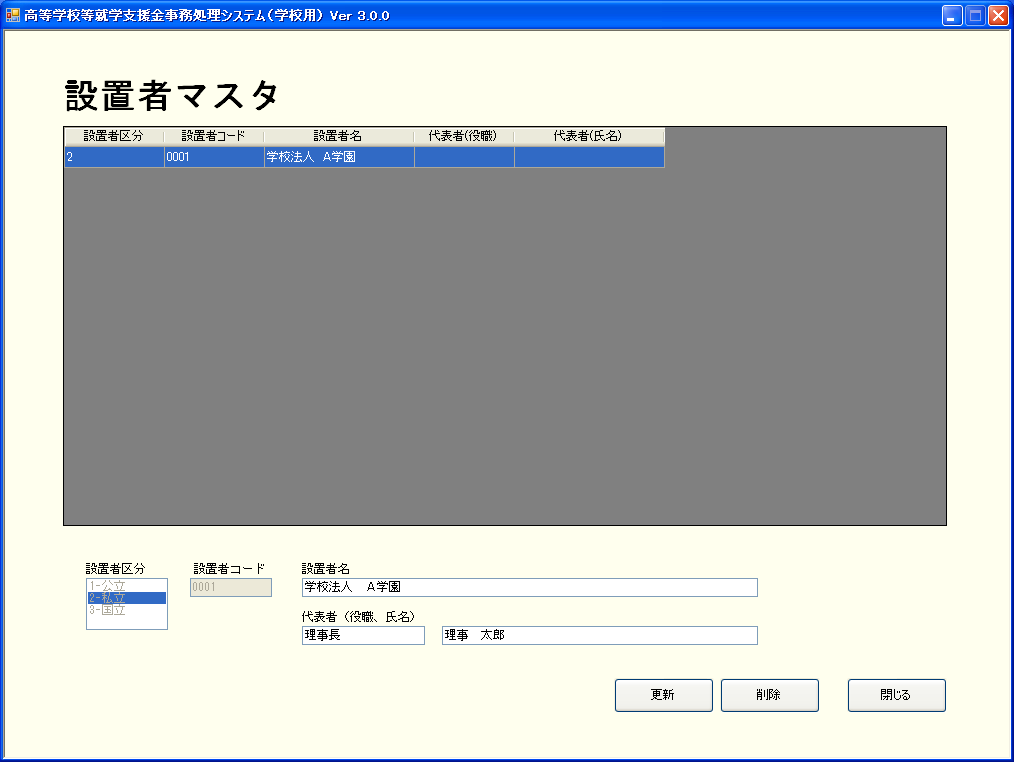
なお、本画面の情報は、各様式で用いる情報ですので、必要に応じて修正してください。

* 1. 設置者情報設定

(1)マスタ管理画面の「設置者マスタ」をクリックします。



＜設置者マスタ＞



設置者マスタには、環境設定画面で選択した設置者情報CSVの情報が表示されます。

(2) 現在の登録情報が表示されますので、詳細情報を確認します。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 設定項目説明 | | | | |
| No | 項目名 | 県/学 | 文字種 | 説明 |
| 1 | 設置者区分 | CSV |  | 設置者区分（国公私区分）を表示します。  1：公立 2：私立 3：国立 |
| 2 | 学校設置者コード | CSV |  | 4桁のコードを表示します。  学校設置者コードの１桁目は、設置者区分（1～3）を設定してください。  都道府県立と 市町村立で重複しないコードを設定してください。 |
| 3 | 学校設置者名 | 学 | 全半角  （60Byte） | 学校設置者名を設定します。 |
| 4 | 代表者（役職） | 学 |  | 代表者の役職を設定 |
| 5 | 代表者（氏名） | 学 |  | 代表者の氏名を設定 |

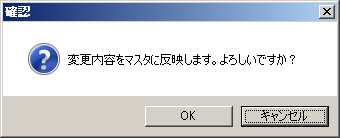
『県/学』欄の凡例　：　CSV：CSVファイルで追加

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　学 ：学校側で更新

(3) 学校設置者名を確認し、代表者（役職、氏名）欄を入力してください。

データの内容を修正した場合は、内容を確認し、「更新」ボタンをクリックします。

確認メッセージが表示されますので、「OK」をクリックし、データを更新します。



なお、学校設置者名や代表者（役職、氏名）は、都道府県に申請等のCSVを提出することで、都道府県側の設置者マスタの情報が自動的に更新されます。

従いまして、学校設置者名や代表者（役職、氏名）は学校側で更新してください。

ただし、学校設置者コードの追加は、都道府県側で行います。

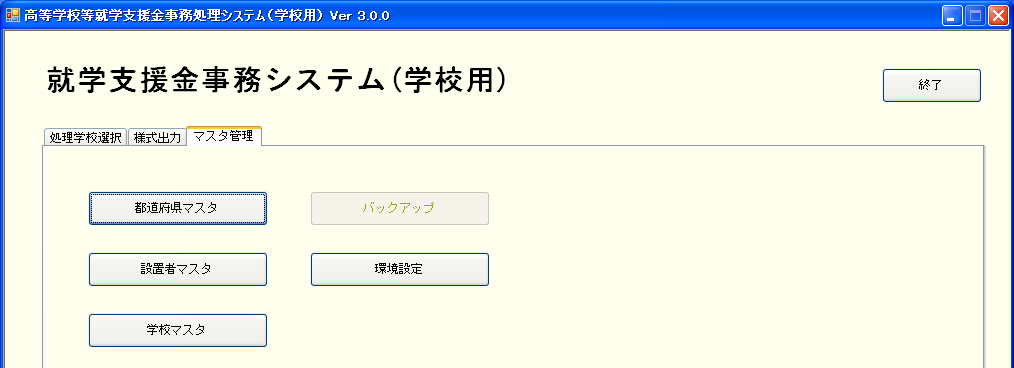
学校側では、都道府県側で修正した設置者情報CSVをsetupフォルダに置き、システムを起動することで、追加されたコードだけがシステムに取り込まれ、追加されます。

(4) 誤って登録した設置者は、「削除」ボタンをクリックする事で削除できます。

なお、設置者マスタで誤って削除した場合は、環境設定画面から再度設定してください。

* 1. 学校情報設定

(1)マスタ管理画面の「学校マスタ」をクリックします。



＜学校マスタ＞



学校マスタには、環境設定画面で選択した学校情報CSVの情報が表示されます。

(2) 現在の登録情報が表示されますので、詳細情報を確認します。

| 設定項目説明 | | | | |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| No | 項目名 | 県/学 | 文字種 | 説明 |
| 1 | 学校コード | CSV |  | 4桁のコードを表示します。  ※同一学校でも、学校区分が異なれば、別コードを振ってください。 |
| 2 | 学校名称 | 学 | 全半角  （60Byte） | 学校名を設定します。 |
| 3 | 設置者区分 | CSV |  | 設置者区分を表示します。  01：国立 02：都道府県立 03：市町村立 04：私立 |
| 4 | 学校種・課程等 | CSV |  | 「学校の種類・課程・学科」を表示します。  01：①高等学校（全日制） 02：②高等学校（定時制） 03：③高等学校（通信制） 04：④中等教育学校（後期課程） 05：⑤特別支援学校（高等部） 06：⑥高等専門学校（１～３学年） 07：⑦専修学校（高等課程）昼間学科 08：⑧専修学校（一般課程）昼間学科 09：⑨専修学校（高等課程）夜間等学科 10：⑩専修学校（一般課程）夜間等学科 11：⑪専修学校（高等課程）通信制学科 12：⑫専修学校（一般課程）通信制学科 13：⑬各種学校（外国人学校） 14：⑭各種学校（その他） |
| 5 | 設置者 | 学 | 選択 | 学校設置者を選択します。 |
| 6 | 住所（都道府県） | 学 |  | 所在する都道府県 |
| 7 | 住所（市区町村） | 学 |  | 所在する市区町村を設定 |
| 8 | 住所（以下住所） | 学 |  | 所在する住所（市区町村以下）を設定 |
| 9 | 代表者（役職） | 学 |  | 学校代表者の役職名を設定 |
| 10 | 代表者（氏名） | 学 |  | 学校代表者の氏名を設定 |
| 11 | 月額授業料 | 学 |  | 基準の月額授業料を設定 |
| 12 | 単位授業料 | 学 |  | 単位制の場合、単位あたりの授業料を設定 |
| 13 | 学校印字 | 学 | チェック | 学校にて生徒宛の各種通知書を印字する場合に設定 |

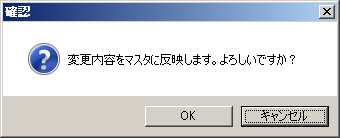
『県/学』欄の凡例　：　CSV：CSVファイルで追加

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　学 ：学校側で更新

(3) 学校名称等を確認し、各欄を入力してください。

データの内容を修正した場合は、内容を確認し、「更新」ボタンをクリックします。

確認メッセージが表示されますので、「OK」をクリックし、データを更新します。



なお、学校名や代表者（役職、氏名）は、都道府県に申請等のCSVを提出することで、都道府県側の学校情報マスタの情報が自動的に更新されます。

従いまして、学校名や代表者（役職、氏名）等は学校側で更新してください。

ただし、学校コードの追加は、都道府県側で行います。

学校側では、都道府県側で修正した学校情報CSVをsetupフォルダに置き、システムを起動することで、追加されたコードだけがシステムに取り込まれ、追加されます。

(4) 誤って登録した学校は、「削除」ボタンをクリックする事で削除できます。

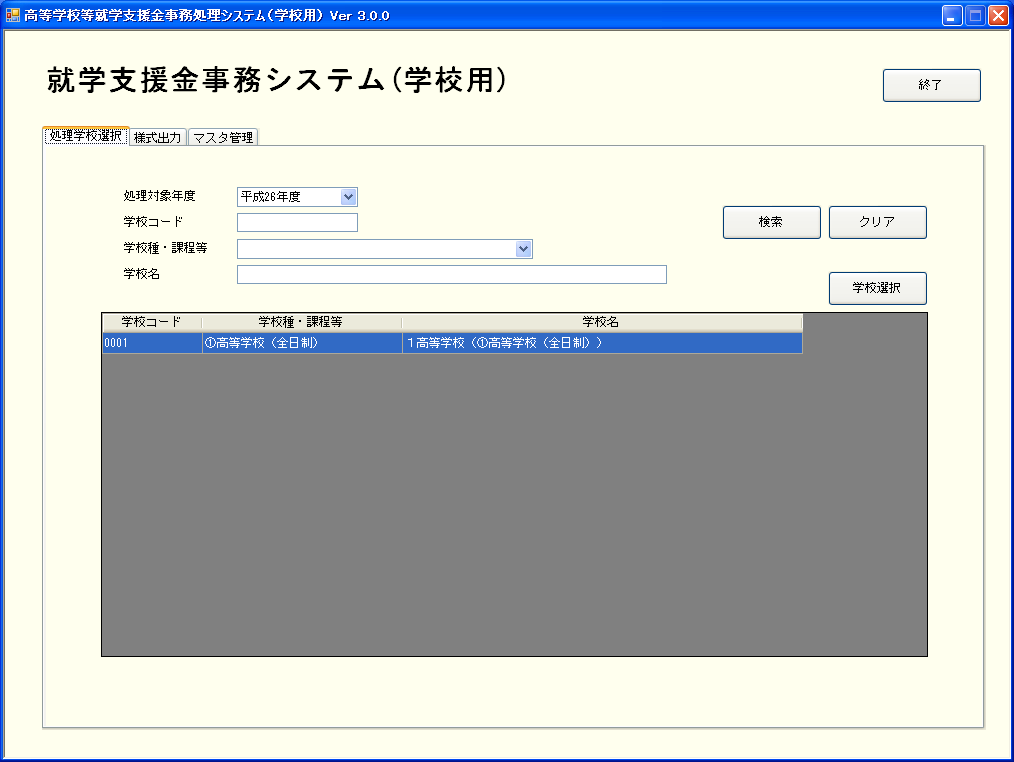
なお、学校マスタで誤って削除した場合は、環境設定画面から再度設定してください。

(5) 処理学校選択画面

マスタ管理にて設定を行い、学校マスタにて学校情報に設置者情報を設定することで、

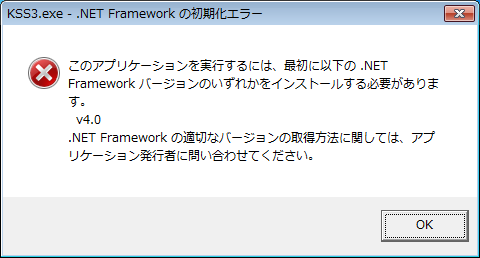
処理学校選択画面に学校が表示されます。

＜処理学校選択画面＞



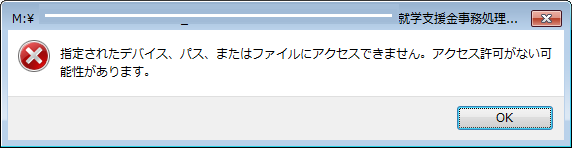
# **補足：エラーにてシステムが起動しない（ログイン画面が表示されない）場合**

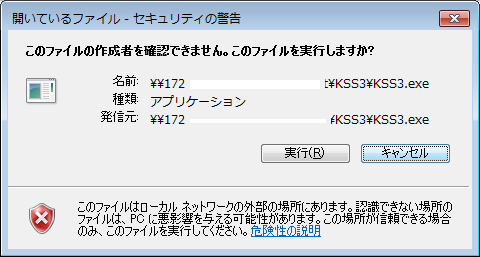
ログイン画面が表示されずに、下記のエラーが表示された場合、Microsoft .NET Framework 4が入っていませんので、Microsoft .NET Framework 4を導入してください。詳しくは、導入手順書を確認ください。



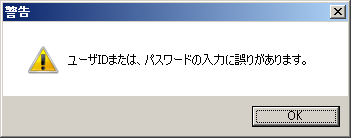
下記のメッセージが表示された場合は、ファイルサーバ等のパソコンの外部にKSS3フォルダを作成した場合に表示されることがあります。

パソコンやネットワーク等の利用環境のポリシーに起因すると思われますので、利用環境のシステムを管理されている方にご相談して頂くか、KSS3フォルダをパソコン内部のディスクにコピーして利用してください。





# **補足：ログインできない場合**



「ユーザIDまたは、パスワードの入力に誤りがあります。」が表示された場合は、下記の可能性があります。

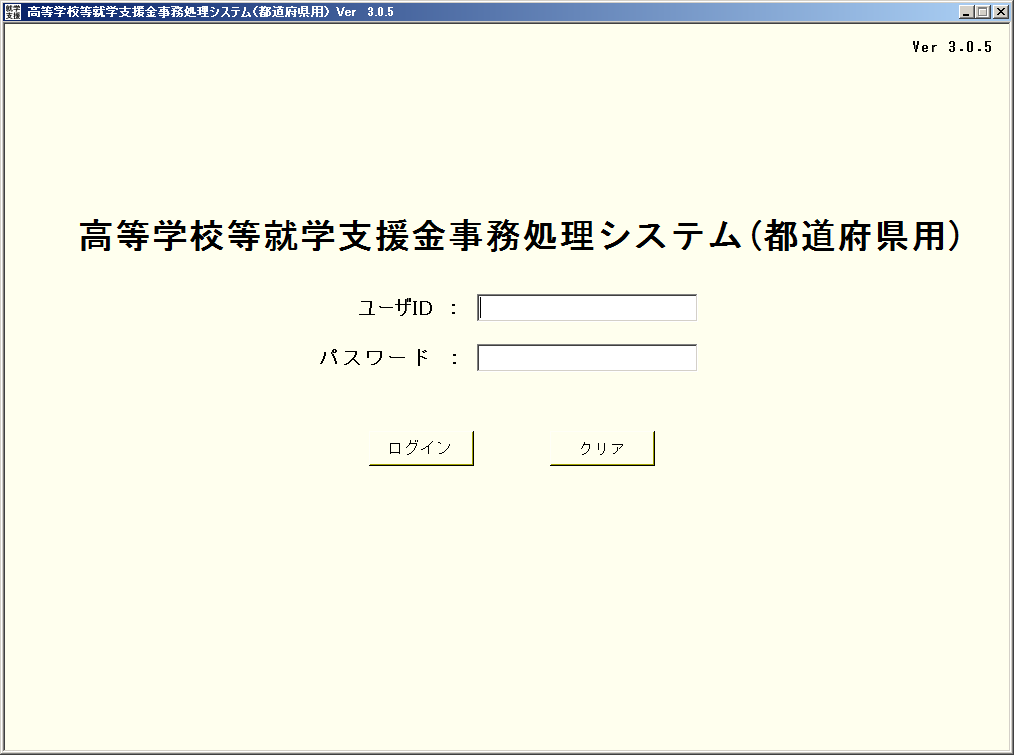
①ユーザID等の入力間違い

ユーザID等を再度確認し、入力しなおしてください。

なお、ユーザID等は、大文字・小文字を区別しています。キーボードの「Caps Lock」や「Num Lock」を確認してください。

②学校用と都道府県用を間違って起動した場合

画面に学校用か都道府県用か表示されますので、確認してください。



③フォルダが深すぎる、フォルダ名が長すぎる

フォルダ名が長い場合や、奥深くのフォルダの場合、システムが正常に起動できずに、ログインできない場合があります。

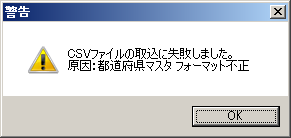
　　この場合は、英数字のみの短いフォルダ名の下にKSS3フォルダを作成し、動作することを確認してください。

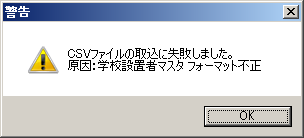
例　：　Cドライブの奥深くに作成した例

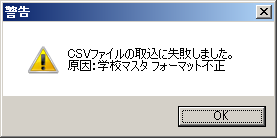
C:\……\……　　　　……\……\KSS3

　　　　　　　　　　　　　　この部分が長い場合は、この部分を短くしてください

# **補足：「CSVファイルの取込みに失敗しました」の場合**







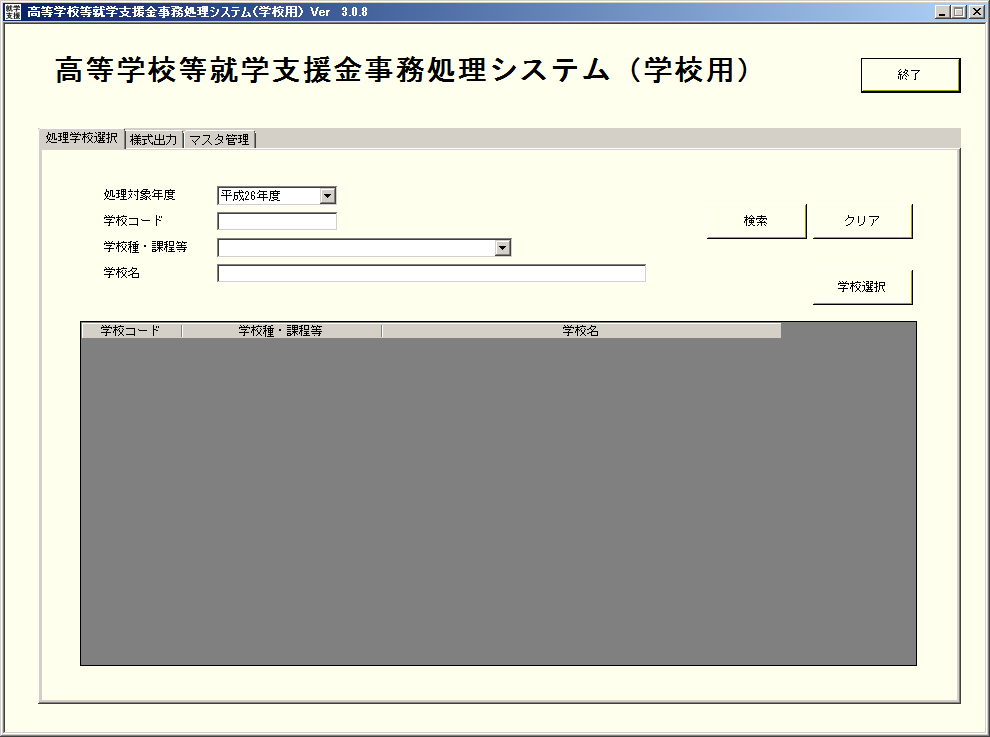
「CSVファイルの取込みに失敗しました。」が表示された場合は、setupフォルダに格納された都道府県情報CSV・設置者情報CSV・学校情報CSVの形式が正しくない場合です。

都道府県においては、作成したファイルをメモ帳で開き、再度エントリーシートに張り付け、Excelのメニューの「データ」－「データの入力規制」－「無効データのマーク」を実行して再度確認してください。

学校においては、作成した都道府県に確認してください。

また、都道府県情報CSVは、必ず１行だけのファイル（他県を含まない）である事を確認してください。

# **補足：処理学校選択に学校が表示されない場合**



処理選択画面に学校が表示されない場合は、下記の確認をしてください。

①学校用システムを起動した場合

学校用システムは、マスタ管理タブの環境設定にて設定を行わないと表示されません。

学校用システムの場合は、マスタ管理タブを確認してください。

②システムにログインした後に、setupフォルダにcsvファイルを格納した場合

ログイン時にsetupフォルダから取込みを行います。一度システムを終了させ、再度ログインして確認してください。

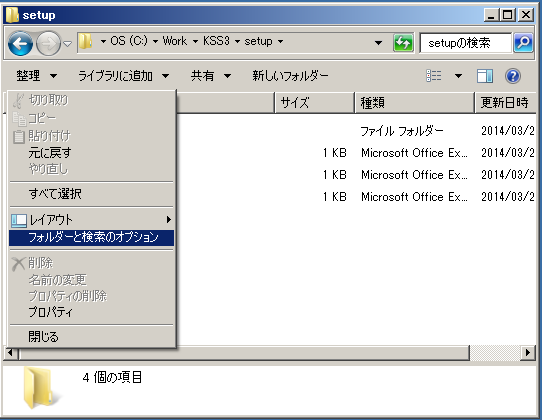
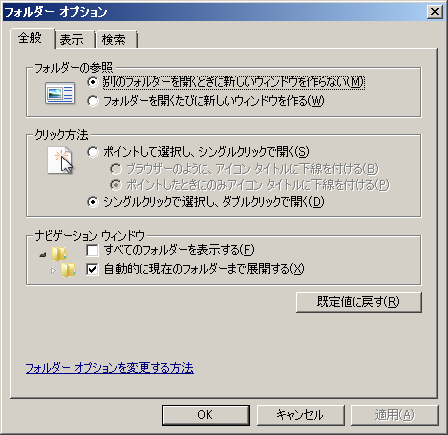
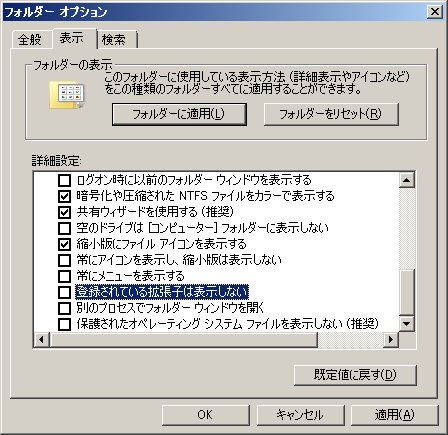
③setupフォルダにファイルが残っている場合

システムを終了させ、setupフォルダを確認してください。

エラー画面が表示されず、99\_取込済みCSVフォルダに移動せずに、setupフォルダに残っている場合は、ファイル名が間違っている可能性があります。ファイル名が全角文字になっていないか等、再度確認してください。

なお、ＯＳの「フォルダーオプション」で「登録されている拡張子は表示しない」にチェックされている場合は、拡張子のcsvが2重になっている可能性があります。

「登録されている拡張子は表示しない」のチェックを外して、ファイル名を確認してください。



「登録されている拡張子は表示しない」

のチェックを外す



拡張子を表示していなかったため、

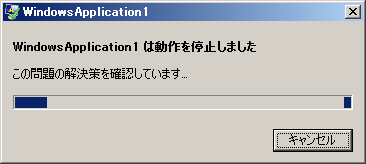
拡張子が２重になっていた例

　　founder.csv.csv

prefecture.csv.csv

　　school.csv.csv

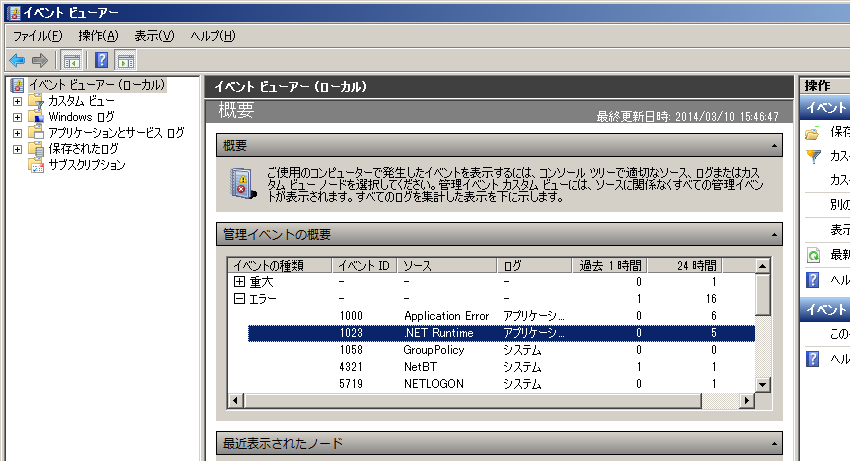
# **補足：「Windows Application1は動作を停止しました」が表示された場合**



「Windows Application1は動作を停止しました」が表示された場合は、Microsoft.NET Framework 4の不具合の可能性があります。

「コントロールパネル」の「管理ツール」の「イベントビューアー」を起動してください。

「管理イベントの概要」の「エラー」を開いて、イベント ID: 1023、イベント ID: 1000があるか、確認してください。

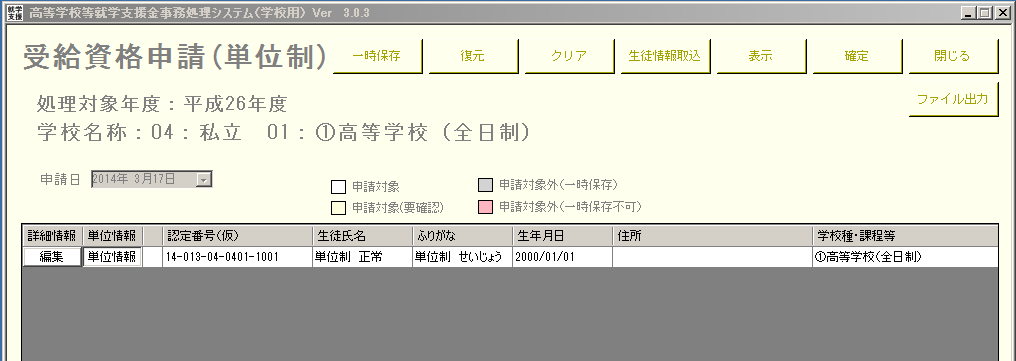


イベント ID: 1023、イベント ID: 1000が存在した場合、下記のMicrosoftの課題である可能性が高いです。

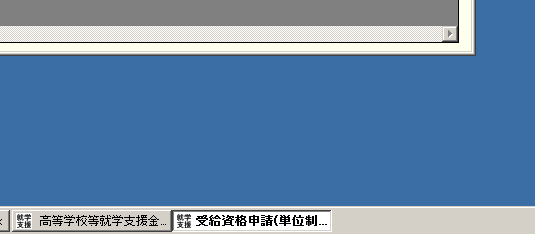
http://support.microsoft.com/kb/2640103/ja

URLに記載されている確認と対策を行うか、Microsoft.NET Framework 4をアンインストールして、再インストールを試みてください。

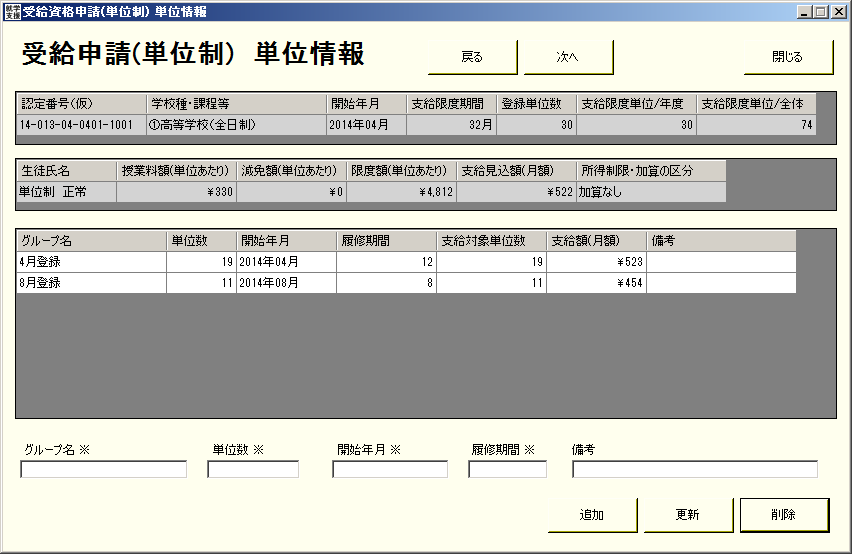
# **補足：画面が反応しない場合**



画面が上記の配色となり反応しなくなった場合、大量生徒の確定等を行い、処理中の場合もありますが、特に時間がかかる処理を行っていない場合は、タスクバーを確認してください。



タスクバーに、親画面と子画面が存在している



子画面が最小化されていたため、親画面だけが表示されていた

子画面が最小化され、親画面は反応しない状態となっている可能性があります。